

市長
コラム

てっちゃんの ひとりごと

このコーナーでは、小林哲也市長が日々感じている思いや出来事などを隔月連載でお伝えしています。

くまがいばくら 幻の桜「熊谷桜」

今年も我が家で「熊谷桜」が咲きました。この品種は、ほかの桜に先駆けて咲き始めることから、一ノ谷の合戦で先陣争いをした熊谷次郎直実公にちなんで名付けられたといわれています。例年はお彼岸の頃に咲き始めるのですが、今年は少し早い3月9日の開花でした。



そんな熊谷桜の歴史は古く、江戸時代に書かれた桜の書物の中には既にその名前があります。その後、長らく行方が分からず「幻の桜」となっていましたが、今から30年ほど前に、桜ファンクラブ会長の横田さんが、日本花の会の結城農場にあることを発見。私も副会長として現地に同行させていただきましたが、憧れの熊谷桜と出会えたときの感動は今でも忘れることができません。

その後、熊谷桜は市役所隣の中央公園に移植され、桜ファンクラブの皆さんのご尽力により、その数と名を広めていきました。市内では石上寺^{せきじょうじ}を始めとする各所に植樹され、平成26年以降は東日本大震災からの復興を願い、直実公のご子孫が多く住む宮城県気仙沼市にまずは88本が植樹され、現在では400本を超えているそうです。



石上寺の熊谷桜

今月、文化センター文化会館で開催される「2023 全国さくらシンポジウム in 熊谷」では、桜ファンクラブの活動報告が、小江川地区1000本桜事業の報告とともに行われます。今後ますますのご活躍を期待しております。